

Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter



No.9 1st March 2011

3月は識字率向上月間です。



ガバナー
月信

2011年3月1日
第9号

地域のためになる社会奉仕は
永遠のテーマです

社会奉仕部門委員長 西澤 孝夫

人のために汗を流す

ガバナー 西川 武重郎

3月は識字率向上月間です。

私事で恐縮ですが、私には双子の娘がいます。姉は結婚して二人の孫を産んでくれましたが、妹は羽が生えて飛んで行ってしまい、今はロンドン大学で勉強をしています。ワークキャンプで識字率向上にかかわる仕事がしたい、そのためには大学院で応用言語学を学ばなければ、とのこと。

私ごとき勉強嫌いな親からなぜ、と思うのですがDNAは争えないものです。夏目漱石の『坊っちゃん』に出てくる山嵐のモデルが妻の曾祖父で、シュタイナーを初めて日本に紹介し、いくつかの学校を作り、教え子の中に正岡子規や秋山真之がいたそうです。

その曾祖父が書いた本の中の「人間にとって文字が読めないくらい不幸なことはない」という言葉に触発され、途上国の識字率に興味を持ち、私と二人で参加したバーミンガムの世界大会のセミナーに出席した時、その道に進む決意をしたようです。早く結婚してほしいのですが、好きな道を進むのならば、と今は半分あきらめの境地です。



↑学校に行けない女の子たち。同年代の学校帰りの生徒を見送る。ネパールにて

志木ロータリークラブの仲間と現在地区の青少年交換副委員長の宮原克平さんの娘さんは、交換留学生としてオーストラリアで学んだ後、現在は青年海外協力隊の関係でネパールの未亡人の生活向上のためのプロジェクトで活躍しているそうです。若者がそれぞれの信ずる道を進み、社会に貢献することは素晴らしいことですし、そのような若者を育てることは、我々ロータリアンの大切な責務であると思うのです。



1968年3月13日に米国ノースカロライナ州で初めて結成されたローターアクトを記念して、3月13日は世界ローターアクトの日と定められ、この日を含む1週間は世界ローターアクト週間と定められています。2570地区では2月11・12日に、大宮ソニックシティでローターアクト全国大会が開催されましたが、青年期の人間形成というかけがえのない時に、インターアクト、ローターアクトの活動を通し、人のために汗を流すことが人としての真の生きがいだという「ロータリーの心」を学んでもらうとともに、若者たちの確かな未来を築くために手を貸すことができることは、私達ロータリアンにとっても幸せなことだと思うのです。



識字教育は、 諸問題解決の根本

パストガバナー 鈴木 勲二 (和光)

識字率向上は1986年以来国際ロータリーの強調事項ですが、2006-07年度からRIの指定する特別月間の「識字率向上」が、これまでの7月から3月へと変わりました。



水汲みは子供たちの朝の仕事



薪集め

2570 地区寄附。2008 年、ブサルダンダ初等中学校旧校舎



授業風景

記念プレート 寄附者 石川嘉彦 PG 刻銘→



2009 年、ブサルダンダ初等中学校開校式。本多会長、垣見氏出席



授業風景

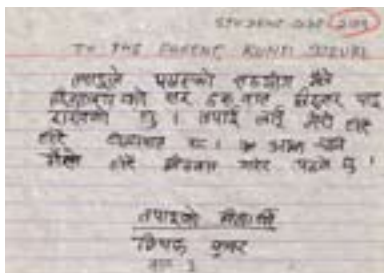
写真提供：さいたまユネスコ協会会長 本多 隆 (大宮 RC)

2. 識字教育

文字が読めないために子どもに間違っ​​て農薬を飲ませた母親。文字が読めないために地主から高い金利でお金を借り、土地を取り上げられた農夫。地方から都会に職を求め、住み着いたスラムでは思うように職にありつけず、わが子を赤ん坊の時に手足を切断し物乞いの道具とする父親など、数限りない悲劇を生んでいます。そして、読み・書き・計算ができないために安定した職が得られず、収入が少ないうえに教育が受けられないといった貧困の悪循環を断ち切ることができる最も有効な方法が、読み・書き・計算する能力を与える「識字教育」なのです。また、今後50年で世界の人口は現在の倍の160億人近くになると予想され、人口の抑制の問題が提議されています。その人口過剰は、地球規模での食料資源の不足、ひいては自然環境破壊問題へとつながっています。その解決は教育の普及にあると言われ、その前提である識字教育は、地球規模での諸問題解決の根本になると言えます。

世界的な識字教育の権威であるブラジルのフレイレ博士は「教育とは、基本的人権である」と言っています。わが国では、ご承知のとおり憲法で義務教育が保障されています。人間が人間として最低限の尊厳を持って人間らしい生活をする権利、それは最低限の衣食住であり、最低限の医療を受ける権利であり、最低限の教育を受ける権利であります。その最低限の権利さえ守られない人々が、まだこの地球上に9億人もいるわけです。

NGO（非政府組織）の奉仕団体の一つ「日本ユネスコ協会連盟」は、書き損じハガキを回収して、海外の識字率の低い国々に対し、識字教室の設立や学校の建設、学校へ行けない子供たちへの「学びの場＝寺子屋」を世界各地に普及させ、識字問題の克服を目指す「世界寺子屋運動」を行っています。国際ロータリーでも、第2770地区の越谷北RCでは1990～91年に始まり、当第2570地区では、富士見RCが1993～94年を皮切りに、この運動は、逐年、多大の成果を挙げてきました。



現地の子どもからの感謝の手紙

3. 2570地区の現状

当地区では、2000～01年度より認定NPO法人（特定非営利活動法人）「さいたまユネスコ協会（本多隆会長）」を通じて、書き損じハガキ、未使用テレカ、商品券等を回収して現金化し、ネパールでの「冠名学校」の建設支援を続けています。併せて、個人名義で「ネパール就学里親制度」への奉仕活動も行っています。

4. 識字率向上プログラム(具体例)

①ネパール学校建設プログラム

約数十万円の支援寄付金で、1校2教室程度の学校建設が可能です。そして支援者の名前を「冠名」とした、「第2570地区学校」や「所沢西RC学校」、「熊谷RC学校」などがあります。これらの学校は、首都カトマンズから300kmの山間部の僻地にあります。（参考）ネパールの政治体制は立憲君主制で、総人口は約2,460万人。

- ・学校制度は、小学校5年制、初等中学校3年制、高等中学校2年制。
- ・教育施設の普及は、小学校は徒歩で60分、初等中学校は90分の距離にまで普及している。

②ネパール里親奨学支援プログラム

支援寄付金 年間8,600円（4～5年間継続しないと卒業資格を取得できない）

（使途）授業料、教科書、進級試験、学用品、制服等の現物支給。

（参考）上記の両プログラムとも、数年前に、地区委員が、本多会長とともにネパールの山奥に展開されているこの事業を現地に赴き検分して、確かな内容の事業であることを確認してきました。

③ミャンマー寺子屋支援プログラム

ミャンマーもネパール同様に未就学児童が多く、パゴダ*や寺院ではなく、僧院（寺子屋）で行われている寺子屋に対し支援が行われています。

ミャンマーにはロータリークラブがないため、支援はミャンマー在日大使館を通じてなされています。数年前、当時のガバナーと世界社会奉仕委員長が現地を検分して、支援金が届いており、事業が確実であることを確認しました。

* pagoda（英語）。日本ではもっぱらミャンマー様式の仏塔の意味

地域のためになる社会奉仕は 永遠のテーマです

社会奉仕部門委員長 西澤 孝夫 (越生毛呂)

RI会長のテーマは、「地域を育み」、「大陸をつなぐ」と、まさに社会奉仕そのものの理念です。人間は、この100年間、豊かさと便利さを求めた結果、私たちは自然を破壊してきました。そして「大切な心の豊かさ」を求めることを忘れてしまったと思います。

ロータリーの使命は、地域社会を動かすことにあります。我々は共通の目的に向かって結束し、奉仕活動に時間と才能をささげることにもまた必要かと思えます。

西川ガバナーが提唱する「利他の心で行動を」すなわち「ロータリーの心」について、これから幸せな未来を創るために我々はもう一度ロータリーの原点に帰って「ロータリーの心は何か」また「奉仕とは何か」を考えてみたいと思います。

現代社会は人の心の豊かさを見失った、人と人との絆が薄い社会となってきました。このような社会であるからこそ自己中心的な考え方とは反対の、人のために役立ちたい、そのために奉仕をするものだという「ロータリーの心」が大切になってくるのだと西川ガバナーは言っています。

皆さんのクラブは、これまでにそれぞれの地域社会で素晴らしい奉仕プロジェクトを展開されています。

社会奉仕活動が、本当に地域のためになっているのか、もう一度検証していただいて再度新たな活動することも大切なことと思います。

今まで、国際ロータリーの社会奉仕の目標は、「その年度で完了するものを選ぶことが望ましい」としてきました。社会は年々変遷し数年前に緊急で最適の奉仕であったものが、忽ちその意義を失ってしまう世の中ですから、いろいろな教材を扱うことで「奉仕の視野」も広めることができます。また、常に継続事業をしていたのでは、役員の年々交代の意味もなくなりマ



ンネリ化の原因ともなります。このことから独自の特徴あるプロジェクトを考えて実践してみることも必要なことだと思います。

「親睦 (Fellowship)」と「奉仕 (Service)」を車の両輪として発展し106年が経ちました。「親睦」とは、「人と触れ合う喜び」であり、「奉仕」とは「人に尽くす喜び」だと思います。「入りて学び、出でて奉仕せよ」と言われています。

いかに「理念 (知識)」をもっていても実践しなくては意味がありません。誰とでも「交友を深め」ロータリー活動によって「心が洗練され」、また参加することによって「ロータリーから学び」、そして立派なロータリアンになることだと思います。

西川ガバナーの「ロータリーの心」と「利他の心で行動しよう」のスローガンのもと、奉仕によって「胸が熱くなり、感動する」ことを体験したいものです。



■今年度、社会奉仕部門のセミナーとしてやったこと

- ① 第1回のセミナーは、新しい年度が始まってすぐの7月3日(土)に紫雲閣で開催しました。そして皆さんのクラブで活動している社会奉仕事業について発表してもらい、その討議の中からクラブ委員長さんは、他クラブの素晴らしい事業も知ってもらうことができました。
- ② 第2回のセミナー(3月12日開催)では、この奉仕活動事業についての、さらなる向上とこの事業の検証をお願いしました。

■地区の社会奉仕部門として活動していること

- ① 単一クラブでは成し得ないプロジェクトについては、近隣クラブが合同で実施することが望ましい場合があります。そのために地区の社会奉仕部門として、奨励、調整、推進することのお手伝いをしています。
- ② 社会奉仕活動は、みなさんのクラブが主体であり、原則、地区単位のプロジェクトではありませんが、

前年度から地区奉仕プロジェクトとして活動している「ブライダル委員会」、「世界遺産登録推進委員会」、「アイバンク運動」については引き続き活動していきます。

■ブライダル委員会

委員会発足5年を迎え、従来の登録者の見直しを実施し登録者の意思の再確認をしました。

なお、大勢の方に登録してもらうため昨年12月までに第1から第5グループのすべての会長幹事会にブライダル委員がキャラバン隊を組み新規登録者の募集をしました。また、ベルセゾンに於いてブライダルパーティーを昨年10月と本年2月に開催しました。

■世界遺産登録推進委員会

今年度はお隣の2770地区とも連携し、各クラブに対してキャラバン隊を動員するなど、世界遺産として『さきたま古墳群』を認めてもらう活動をしてきました。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

「宿題」の発表やディスカッション、そして書初め、調理実習まで

青少年交換委員 新井 道夫（越生毛呂）

去る1月9日（日）～10日（祝）、東松山市リコー研修所及び松山市民活動センターに於いて、RI第2570地区青少年交換委員会、第4回オリエンテーション・ウィンターセミナーが開催されました。

開会式には西川ガバナー・立原ガバナーエレクト・野口新世代部門委員長にもご出席頂き、来日学生並びに派遣候補生に大変貴重なお言葉を頂きました。

参加対象者は来日学生・派遣候補生・ホストクラブ・スポンサークラブ各会長・幹事・カウンセラー・ホストファミリー・ローテックス・委員会の委員等総勢20名を超す参加を得て、賑やかに開催することができました。

1日目のセミナーでは、来日学生・派遣候補生にそれぞれに、あらかじめ宿題としてあった「自国の年末年始の過ごし方」を発表してもらいました。来日学生の中には、来日後半年足らずにもかかわらず、驚くほど日本語が上達した学生もありました。

続いては地区大会の時に披露する歌「イマジン」の練習、そして来日学生・派遣候補生一人ずつペアになり、英語と日本語で「スポーツ」についてのディスカッションを行い、それを来日学生は日本語で、派遣候補生は英語で発表しました。



次に「自分の目標」と題して書初めを行いました。皆、様々な思いを書きましたが、来日学生の中には母国で書道を習っていた子もあり、我々日本人より上手でした。

夜間研修では来日学生3名の誕生日のお祝いをサプライズパーティーとして行いましたが、3名とも大変喜んでおりました。ちなみにバースディケーキの表面には、食べられる食材で3名の顔写真がプリントされていて、本当にサプライズでした。

2日目は松山市民活動センターに場所を移し、学生・ローテックスは調理実習、委員会は派遣候補生の派遣国決めの協議等を行いました。

調理実習では、来日学生はそれぞれのお国柄を表した油っこい料理が多く、派遣候補生たちは肉じゃが、すし、芋の煮ころがし、白玉等を調理し、諸外国で日本の料理を紹介するための良い練習となりました（味の方はまだまだ修行が必要ですが…）。

4回目のオリエンテーションとなりますが、参加学生のいろいろな意味での成長が見られた有意義なセミナーであったと思います。

最後になりましたが、我々の活動を支えてくれているローテックスの皆様、感謝致します。



成果を上げた上半期広報活動

広報記録委員長 **横塚 元幸**（東松山むさし）



本セミナーは、各クラブ上半期の対外広報の成果と、下半期の活動計画の情報交換、下半期に更なる意欲的な対外広報活動をとという趣旨で開催しました。

ロータリーの友編集長、二神典子氏の講演（演題「ロータリーのイメージ向上のために」）では、

- 「友」、「ロータリージャパン」は最新情報の山で広報のツールも沢山あるが、広報のネタは実にクラブにあり、奉仕活動の際、広報担当と連携し合える仕組みを作ってはどうか。
- ロータリーのイメージ向上にHPは欠かせないが、比較的内輪の情報が多く、ロータリアン以外の人の興味を引くような記事のコンテンツ、配列、用語等に配慮が欠けている。
- 「□□のさくら」などと検索すると「○○RC」と出てくるようになったらと思う。
- 懇親会の写真などは宴会する団体？と誤解を受けやすいので控えた方が。
- 個人情報に充分注意し、特に写真は人物が特定できない配慮も。
- 内輪の情報アクセスは会員専用パスワード利用。

- 更新は無理無くできる頻度を考え、内容は皆で考えていく必要も。
 - 対外広報はそのリアクションが直に確認できなくても、ロータリーは自分たちのために活動する組織ではなく、地域社会に役立つ活動を行っている組織だとの認識を広めることができる。
- などの貴重なお話を頂きました。

事例発表では、朝日、読売、毎日新聞等に掲載された行田さくらRCの「未来に残したい行田の自然八景」募集活動と併せて、メディアへのアクセス方法、普段の関係維持が発表され、東松山むさしRCより丸木美術館学芸員の8月例会卓話がタイムリーと地元CATVに放映された事例、吹上RCからプレスリリース利用は功を奏しなかったが市広報に掲載された事例の報告を頂きました。

テーブル別情報交換では、将棋、スポーツ大会、草花樹木植栽等のスポンサー、新聞折込、街案内マップ作成、メディアに携わる会員の協力による広報など種々ご腐心頂いた手法でチャンレジした成果の発表を頂きました。

最後に真下研修リーダーから講評を頂きました。

ロータリー新時代へ

ガバナーエレクト 立原 雅夫 (川越)

国際協議会がアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで2011年1月16日～22日まで開催され、世界中から530名のガバナーエレクトが集まり、ロータリー情報や情熱を語り合いました。

本会議はレイ・クリングスミス RI 会長の開会宣言・点鐘があり、国旗入場や国歌斉唱の開会式後、カルヤン・バネルジー会長エレクトが新しいテーマを発表し、次年度の地区ガバナーに語りかけました。

テーマ

『こころの中を見つめよう、博愛を広げるために』

～ Reach within to Embrace Humanity ～

その内容は「家族・継続・変化」の3つのテーマが強調事項として発表されました。

その他、ウィリアム・ボイド財団管理委員長エレクトよりRI長期計画とリンクした「未来の夢計画」の説明。全ての地区への6つの重点分野を考慮した「新地区補助金」の導入の説明があり、ロータリー新時代



への意欲が伺われました。ポリオ撲滅事業もいよいよ

「Final Inch !」から「End Polio Now !」と終盤へ。またRI元会長や役員より世界の会員数の動向、100年以上の歴史となったロータリー・ブランド構築、また「会員増強」や「若者とロータリー」などの成功例が発表されました。

会議は8回の本会議と11回のグループ討論が開催されました。また、国際祭りでは各国の舞踊、歌などが紹介されとても華やかでした。

「チーム・ジャパン」も奥様方全員で沖縄舞踊を発表し喝采を受けました。

最終日には晩餐会があり、「Let There Be Peace on Earth」が提唱され、閉会しました。

とても有意義で楽しい1週間でした。



国際協議会にて、カルヤン・バネルジー会長エレクトご夫妻と

オーストラリアチームを迎えて

日豪青年相互訪問委員会委員長 金子 章(本庄)

日豪青年相互訪問プログラムは、当地区と国際ロータリー 第9455地区(オーストラリア・ウェスタンオーストラリア州)の18歳から30歳までの青年を対象とした国際文化交流を目的として行われており、今年で35回目を迎え、今までに両国合わせ1,000名近い団員が言葉や文化等の垣根を越え、素晴らしい交流と友情を育んで参りました。

本年度は、1月29日にオーストラリア・パース市よりゲイリー・ロウレンス(Garry Lawrence)夫妻以下8名のオーストラリアチームが来日致しました。

当日は西川ガバナーを初め約70名の関係者にお越し頂き、東松山・紫雲閣にて盛大にウエルカムパーティーが開催され、今回より末永いお互いの交流を祈念し、植樹を行うこととなり、目録の交換が行われました。

この日は深夜にサッカーアジアカップ決勝、日本対オーストラリア戦があり、お互いに両国選手の検討を祈るエールの交換で大いに盛り上がりました。

また、津軽三味線やじょんから節(正式には「じょんから」と呼ぶそうです)や高橋福八パストガバナーの相撲甚句など、賑やかな余興で楽しく有意義なひと時を過ごしました。

2月1日には川越市の「喜多院」や「^{れんけいじ}連馨寺」、「菓子屋横丁」の散策等を楽しみました。特に連馨寺では本堂に上がり、仏の教えや寺の歴史等について久米原住職(川越RC)から丁寧な説明を受け、仏教について理解を深めて頂けたことと思います。

2日は浅草の風景やもんじゃ焼きなど下町の雰囲気を楽しみ、秋葉原では浅草と対照的な電気街の賑わいとショッピングを体験しました。



3日は東京ディズニーランド観光、4日は横須賀市の日産自動車追浜工場を見学し、日本の誇るロボットやハイテク技術、品質管理等を見学しました。

7日より草津国際スキー場にて二泊三日のスキー体験、初めて雪を見る団員がほとんどで、草津のパウダースノーに触れ、大変感激した面持ちでした。

11日はホストファミリーとの合同食事を東松山森林公園レストランで開催、ホストファミリー全員と顔を合わせる最後の機会となり、別れを惜しむ場面が見られました。

12日はいよいよ最終日、西川ガバナーが理事長をされている老人ホーム「ルストホフ志木」を見学後、昼食。その後、志木市親水公園内にてオーストラリアの国の木のアカシアの記念植樹を行いました。

ちなみにオーストラリアサッカー代表チームのユニフォームの色、グリーンと黄色はアカシアの葉と花の色から由来しているとのことです。

植樹後、成田空港にお送りし出発ロビーにて再会を約しお別れ致しました。

なお、日本チームは金子章以下7名が3月12日に日本を出発、3月26日に帰国を予定しております。この間、オリエンテーリング重ね、第2570地区の代表としてまた良き日本人として両国の交流と親善を深めて参りたいと考えております。

今回、全プログラムを通して事故やトラブルもなく無事に終えることができました。日本チームの派遣団員を推薦頂いた各ロータリクラブやロータリアン、また、ホストファミリーや関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

人間関係の大切さ、仕事の大切さがわかった



去る1月26日(水)、和光高等学校和光会館において、西川ガバナーを迎えて社会体験活動の意見交換会が行われました。最初に和光高校の中島校長より関係者へのお礼と、地域に根ざした学校になるよう努力していますとの挨拶がありました。西川ガバナーからは、生徒はどんな事を学んだのか、又受け入れる側も受け入れを通して勉強出来たのではないかという話がありました。受け入れ事業所でのスライドを見せてもらい、その後、学校側からは「学校では見られない顔が見られた、学校での評価と違う面も見られた」との発言もありました。

生徒からは、「不安だったが楽しかった」、「人間関係の大切さ、仕事の大切さがわかった」、「任された仕

事が出来て良かった」、「社会体験で将来の仕事への考えが変わった」等の意見発表があり大変感心しました。

意見交換では、受け入れ側から「活動の意義を教えてくださいに来てほしい」、「社会常識を教えてくださいに来てほしい」、「何を話していいかわからない」等の意見がありました。高校生社会体験委員会の宮根委員長からは、今の高校生は「社会体験」、「自然体験」がないので、このような活動は必要であるとの意見がありました。

最後に学校評議員の鈴木勲二PG、県立学校部生徒指導課の青木指導主事から講評を頂き、その後中島校長よりお礼の言葉があり、意見交換会が大変有意義に終える事が出来ました。

地区副幹事 星野 博之(志木)

●埼玉県より感謝状

1月31日埼玉県教育委員会教育長前島富雄様より、今年度高校生社会体験活動に協力した、第2570地区西川ガバナーおよび第2770地区井橋ガバナーに感謝状が贈呈されました。

当日は体験活動に参加した高校生の代表2名、保護者の代表2名も出席し、上田知事に自分たちが体験したことを報告されました。

地区幹事 大野栄治



いざとなったら、全員で

坂戸さつき RC 幹事 永森 円拡 (坂戸さつき)

去る1月12日(水)坂戸グランドホテルWINにおいて、坂戸市長、坂戸市議会議員、市内各団体代表者、2570地区西川ガバナーを始め、2570地区役員の方々、第一グループ会長・幹事のご来賓を迎え盛大に祝賀会を開催致しました。小川会長の挨拶に続き、20周年記念事業の発表では、坂戸市、ロータリー財団、米山奨学へ金一封の寄付を行いました。

その後、来賓挨拶では、西川ガバナーからは、本年度小川会長の所信で述べている「いざとなったら、全員で」について、ロータリアンとして事に当たるためには大変良い心がけであり、坂戸さつきクラブのメンバーの心意気が良く判りますと、お褒めの言葉を頂き、ま

た、100%ポールハリスクラブとして、2570地区では最初に認証されたクラブであることもお話頂くなど、メンバーとして特段意識していなかったことに触れて頂き感激した次第です。これからも更なるロータリー活動を目指してメンバー全員で頑張っていきますので、今後とも皆様のご支援をよろしくお願い致します。



本年度の地区大会は、4月2日(土)に川越プリンスホテル、翌3日(日)は志木市民会館パルシティにて開催されます。

この地区大会を通して、第2570地区の会員の皆様、そしてご家族同士の交流を深める場にして頂きたいと考えております。2570地区会員が一堂に集まって親交を深めることができる絶好の機会でもあります。

「利他の心」でお互いを理解し合い、認め合うことで絆が



ナターシャ・グジー

撮影：広河隆一

—西川年度— 地区大会及びチャリ



深まることは、とりもなおさず第2570地区の発展に直結しており、それは2570地区を育むことでもあります。国際ロータリー第2570地区の発展は、私たちが幸せな未来を考えることにより、更に増進させることができると信じます。

本大会第1日目には、ロータリー国際会長代理が出席され、また、九州の第2700地区の廣畑富雄 PG (福岡西 RC) が「地区指導者育成セミナー」講師として出席されます。夜6時半からのイベントでは、美しく透明な歌声と、哀愁を帯びたバンドウラ (ウクライナの民族楽器) の響きで日

新入会員のご紹介

(深谷 RC)



高丹 秀篤
高砂食品株式会社

(紹介者) 田部井 荘

(岡部 RC)



内田 勝一
内田設備

(紹介者) 吉田、恒、吉岡 幸子、井上 敏夫

(熊谷南 RC)



塚越 尚之
塚越労務管理事務所

(紹介者) 岡部 俊之

(行田 RC)



倉持 好二郎
(協)行田給食センター

(紹介者) 小川 雅以、山本 憲作

(行田 RC)



野口 一信
(株)サンクチュアリ

(紹介者) 湯本 茂作

(行田 RC)



井上 真弓
(株)アロマ グレース

(紹介者) 湯本 茂作

(和光 RC)



松川 厚子
(有)富澤薬局

(紹介者) 鈴木 勲二、宮川 昌久

(所沢中央 RC)



土井 宣昭
(株)エスピーシー

(紹介者) 角田 淳

ティーゴルフコンペのご案内



本人を魅了しているナターシャ・グジーさんの演奏会を企画しております。

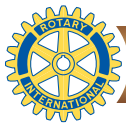
大会二日目はお昼からの開催で、西川ガバナー地元の志木市民会館にて、新世代プログラムアワーとして「幸せな未来をつくるために」、さらに、記念公演として、JICA の樋口曉子元蓮田市長の講演「モロッコで見つけた黄金の国ジバング」が計画されております。

一人でも多くの会員の皆様が、ご家族と共に参加されますよう、そして本大会を盛り上げて下さいますよう心からお願い申し上げます。

地区大会記念チャリティーゴルフコンペ

本年度会場は「川越カントリークラブ(東松山市)」にて、3月28日(月)に開催致します。
18 ホールのストロークプレイ(新ペリア方式)での個人戦・団体戦をお楽しみ下さい。





表彰

マルチプル・
ポール・ハリス
フェロー

小島 幸枝 (新座こぶし RC)



大野 賢次 (入間 RC)



杉山定太郎 (入間 RC)



関谷 永久 (入間 RC)



宮寺 成人 (入間 RC)



吉永 章子 (入間 RC)



ポール・ハリス
フェロー

粕谷 康彦 (入間 RC)



松井 秀男 (入間 RC)



山岸 義弘 (入間 RC)



米山功労者

7回 小島 武 (新座こぶし RC)



4回 半田 武 (飯能 RC)



4回 摂田 順一 (入間 RC)



3回 宮寺 成人 (入間 RC)



3回 細淵 克則 (入間 RC)



3回 友野 政彦 (入間 RC)



3回 繁田 昌利 (入間 RC)



3回 山根 浩夫 (入間 RC)



2回 山岸 義弘 (入間 RC)



1回 服部 融亮 (飯能 RC)



1回 土屋 崇 (飯能 RC)



1回 高橋 勤一 (熊谷東 RC)



1回 吉沢 誠十 (入間 RC)



1回 繁田 光 (入間 RC)



出席率・会員数報告

	クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)										女 性 会 員
			当 月	通 算	年 初 (7/1)	1 月 未 現 在	1 月 入 会 数	1 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	1 月 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	
第1グループ (1RC)	川越	3	86.4	84.4	85	83	0	1	1	3	-1	-2	0	0	
	東松山	3	80.6	74.0	34	36	1	0	2	0	1	2	1	1	
	小川	3	63.3	74.2	11	11	0	0	0	0	0	0	1	1	
	坂戸	3	90.9	91.6	24	25	0	0	2	1	0	1	0	0	
	越生毛呂	3	79.5	80.0	27	27	0	0	0	0	0	0	0	1	
	川越小江戸	3	93.8	94.0	17	16	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	川越西	3	95.2	77.7	17	14	0	0	1	4	0	-3	1	1	
	鶴ヶ島	3	70.0	74.7	30	28	0	0	0	2	0	-2	3	3	
	川越中央	3	84.2	81.3	31	32	0	0	2	1	0	1	0	0	
	坂戸さつき	3	84.1	74.6	21	22	0	0	2	1	0	1	5	5	
	東松山むさし	3	87.1	86.3	34	26	0	9	1	9	-9	-8	-6	-6	
	小計		83.2	81.2	331	320	1	10	11	22	-9	-11	6	6	
第2グループ (6RC)	朝霞	3	100.0	100.0	35	34	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
	ふじみ野	3	71.4	84.5	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	
	志木	3	94.5	94.7	50	49	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
	富士見	3	93.9	86.2	45	42	0	0	0	3	0	-3	0	0	
	新座	3	93.9	88.6	27	28	0	0	2	1	0	1	3	3	
	和光	3	92.8	92.0	19	21	1	0	2	0	1	2	2	2	
	朝霞キャロット	4	89.6	90.8	11	12	0	0	1	0	0	1	0	0	
	志木柳瀬川	3	93.3	92.7	12	11	0	0	0	1	0	-1	4	4	
	新座こぶし	3	97.9	95.8	15	16	0	0	1	0	0	1	3	3	
	小計		91.9	91.7	230	229	1	2	6	7	-1	-1	12	12	
第3グループ (12RC)	入間	4	81.0	82.5	45	44	0	1	1	2	-1	-1	1	1	
	所沢	3	87.0	83.8	60	59	0	0	0	1	0	-1	4	4	
	飯能	4	88.2	90.9	58	57	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	狭山	4	98.8	99.8	22	20	0	0	0	2	0	-2	1	1	
	新所沢	3	85.9	84.1	28	26	0	0	0	2	0	-2	1	1	
	日高	3	84.0	85.0	23	28	0	0	5	0	0	5	4	4	
	所沢西	3	96.9	93.6	43	43	0	0	1	1	0	0	1	1	
	新狭山	3	88.9	91.6	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢東	4	88.8	87.6	38	39	0	0	1	0	0	1	3	3	
	入間南	3	93.6	91.2	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
第4グループ (12RC)	所沢中央	4	89.4	89.4	37	36	0	0	1	2	0	-1	0	0	
	狭山中央	3	82.6	81.7	32	32	0	0	0	0	0	0	0	5	
	小計		88.8	88.4	447	445	0	1	9	11	-1	-2	20	20	
第5グループ (12RC)	深谷	4	73.7	73.8	58	59	1	0	1	0	1	1	8	8	
	本庄	4	86.5	83.7	67	67	0	0	0	0	0	0	7	7	
	秩父	3	74.6	77.4	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄居	3	77.8	83.5	35	36	0	0	1	0	0	1	1	1	
	児玉	4	70.5	69.0	12	11	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
	岡部	3	80.3	83.7	18	19	1	0	1	0	1	1	2	2	
	深谷東	3	69.3	69.8	64	69	0	0	7	2	0	5	0	0	
	上里	2	87.5	85.7	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
	川本	3	89.0	93.1	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皆野・長瀬	4	87.5	86.7	17	18	0	0	1	0	0	1	3	3	
第6グループ (12RC)	本庄南	4	80.3	84.1	20	22	2	0	2	0	2	2	0	0	
	深谷ノース	3	67.6	74.9	36	34	0	2	0	2	-2	-2	0	0	
	小計		78.7	80.5	399	407	4	3	13	5	1	8	21	21	
第7グループ (12RC)	熊谷	4	82.2	80.1	89	89	0	2	4	4	-2	0	3	3	
	行田	4	63.1	77.2	54	56	1	0	5	3	1	2	2	2	
	羽生	3	87.1	80.1	36	38	0	0	2	0	0	2	2	2	
	加須	3	90.9	84.4	37	38	0	0	1	0	0	1	1	1	
	熊谷西	3	82.2	84.2	21	21	0	0	0	0	0	0	1	1	
	行田さくら	3	79.6	77.6	39	39	0	0	1	1	0	0	0	0	
	熊谷東	3	89.9	92.7	33	33	0	0	0	0	0	0	2	2	
	吹上	4	91.6	92.2	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	熊谷龍原	4	94.2	90.3	27	26	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
	熊谷南	3	72.4	71.7	28	29	1	0	1	0	1	1	1	1	
	小計		83.3	83.1	376	381	2	3	14	9	-1	5	12	12	
54RC	クラブ会員数		85.0	84.7	1783	1782	8	19	53	54	-11	-1			
	女性会員数				77	71	1	9	4	10	-8	-6			

3・4月のスケジュール

3月

5	土	第3G・IM GSE チーム出発
12	土	日豪訪問チーム出発 第2回社会奉仕部門セミナー
13	日	朝霞キャロット RC20 周年
15	火	行田さくら RC35 周年
19	土	国際親善奨学生第1次選考試験 職業奉仕部門セミナー
26	土	青少年交換スプリングセミナー
27	日	〃 GSE 豪チーム来日／日豪訪問チーム帰国
28	月	地区大会記念ゴルフ

4月

2	土	地区大会 (川越プリンスホテル) GSE チーム帰国
3	日	地区大会 (志木市民会館)
8	金	4 回財団オリエンテーション
17	日	ブライダル相談会
24	日	地区協議会 GSE 豪チーム帰国

編集部から

本誌2ページのガバナーメッセージに、ネパールの子供たちが写っています。靄と思いきりリュックを背負って登下校する子の傍らに、水汲みで学校に行けない女の子たちが写っています。

編集子の友人は、日本政府の無償資金による学校建設のため10年ほど前にラオスへ行きました。しかし、建設された学校は、生徒が集まらず開店休業状態でした。その理由は、妹や弟の世話をするために学校へ行けないというのです。その友人は、自己資金で土地を購入し保育園を建設してしまいました。

識字率向上には、学校建設だけではなく、生徒が確実に登下校できるような生活基盤を作る必要があることに気がつきます。貧困撲滅と識字率向上、とても重い課題です。

訃報



金剛 秀房様
(川越RC)

2011年1月1日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年70歳
ロータリー歴
1983年6月入会 (在籍28年)

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第9回 寄居

信号「今市地蔵前」の案内標識から国道296号に入り、薬師堂から北上します。今市地蔵前を起点に地図を見ると、関越道は鎌倉街道の東側を並走していることに気がつきます。その関越道を東松山方面から下り線を行くと、左手にアイリスオーヤマの看板のある建物が目に入ります。鎌倉街道はその西側を通っていたようです。歴史のはるかかなたの名前と、現在活躍中の会社の名前とが同居していて、なんとなく鎌倉街道が身近に感じられます。そして荒川に架かる花園橋の東側、赤浜の渡しから対岸の深谷市へと鎌倉街道は続きます。

「今市地蔵前」の信号を296号線へ入り北西へ進む道が鎌倉街道と言われています。信号からほど近いところに高蔵寺があり、その奥の兒泉神社西側が街道跡ではないかという説もあるようですが、確認できませんでした。

県道を更に進むと薬師堂があり、その前には地蔵尊や石塔が見られます。ここから県道を離れ北上します。関越自動車



道に至る半分ぐらいのところの三嶋神社あたりから普光寺に向かって北西に街道は進むようです。

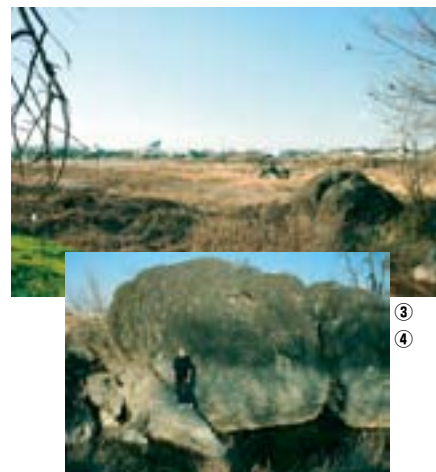
県道81号線を北上したところの鎌倉ゆかりの武将、畠山重忠公史跡公園には、一ノ谷の合戦の際に、「馬に乗ったままで急坂を降りれば愛馬の足を折ってしまうのは必定」と、馬を抱えて下ったという『源平盛衰記』の有名な逸話^{ひよどりこえ}「鶴越の逆落とし」に基づいた銅像①が立っています。

普光寺から県道81号を渡った赤浜では近年大規模な調査が行われ、確認された掘割状遺構が「アイリスオーヤマ」の脇を通ります②。案内板なども設置され、気軽に鎌倉街道探索ピクニックができそうな場所に整備されています。

この先には、入間川以上に、越すのに難儀したと思われる荒川が控えています。この赤浜の川岸には、花園橋と関越道の中間ぐらいのところに「川越岩③」という

大岩が残されており、土手から見るとさほどではありませんが、近くまで行くと、鎌倉時代から残っていても不思議ではないぐらいの大きさがあります④。対岸の深谷市側にも同じような岩があって、ここが荒川渡しの目印だったのでしょう。

残念ながら、これから先、埼玉県内の鎌倉街道には遺構の形跡が見当たらなくなってしまう。



畠山 重忠(はたけやま しげただ)
平安時代末期から鎌倉時代初期の武将。平家に与^{くみ}していたが、17歳の頃に頼朝側に服従を誓い、やがては義経と共に木曾義仲を討つこととなる。

ガバナー月信 第9号

2011年3月1日発行

今月の表紙: 社会奉仕部門委員長
西澤 孝夫(越生毛呂)

国際ロータリー第2570地区 2010-2011年度ガバナー 西川 武重郎

ガバナー事務所

〒353-0004 埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F

TEL (048) 485-3883

FAX (048) 485-3855

E-mail = info2010@mail.rid2570.gr.jp

Website = http://www.rid2570.gr.jp/2010/